

3年1組 特別の教科 道徳

1 主題名 命が生まれ育つこと 内容項目：D 生命の尊さ

2 教材名・教材について 「お父さんからの手紙」

本教材は、出張中の父親が、健一の誕生日に生まれたときの出来事を手紙に書いて送った話である。手紙には、お医者さんから心臓の手術をしないと健一は、助からないといわれた時の悲しみや手術前後の不安、健一という名前の由来などが父からの手紙を通して描かれている。生まれてから今まで、様々な親の思いを通して、考えることができる。そのことを通して、「周りの人の思いがあって、今まで無事に成長できたこと」に気が付けるようにしたい。

3 ねらい

生命が周りの多くの人々の支えによって守られ、育まれている尊いものであることを理解し、自他の声明を大切にしようとする心情を育てる。

4 本時の流れ

授業の流れ

導入	1 命は生まれると自然と育つというのでしょうか。
展開前段	2 教材「お父さんからの手紙」を読み、生命の尊さについて考える。 (1) この話を聞いて、心にのこっているところを発表する。 (2) この話の中で、いのちが生まれ育つことと関係あるところはどんなところですか。 (3) 12時間もかかった手術の間、お父さんとお母さんは、どんなことを考えていたのでしょうか。 (4) お医者さんから、「もう大丈夫です。」と言われたとき、お父さんとお母さんは、なぜ思わず涙を流したのでしょうか。 (4) お父さんからの手紙を読んだ健一はどんなことに気付いたのだろうか。
展開後段	3 自分の生活を考える。 (1) 命を大切にするために、どんなことに気をつけたいですか。
まとめ	4 教師の話聞く。 ○教師自身の生命尊重に対する思いを、体験をもとに語る。

自分がここまで成長したのは、自分を支えてくれた人がいたから。



◆見どころ◆

自分の命を支え、育ててくれる周りの人々の思いについて考える時間を大切にして指導します。教材を通して、まわりの人の思いがあって、自分が成長してきたことに気付かせます。そして、自分の生活におきかえ「自分の命を大切にすること」を考えるだけでなく、教師が親としての立場で子ども達と授業します。